

みんなの 議会

おおさと

NO.191

定例会



町花：つつじ



愛情いっぱい
美味しさいっぱい

2018 平成30年8月1日
宮城県大郷町議会

2 物産館改修に1億500万円
4 条例改正

6 一般質問
16 第2回議会報告会

19 追跡リポート
その後どうなった

物産館改修に1億500万円



1億500万円 物産館改修事業補助金

問 判断材料が少ないので、物産館改修についての詳細な資料の提示を。

答 農政商工課長 立面図など詳細に詰めていく。

問 入札指名業者選定等にもっと介入を。

答 参事 庁内関係課と連携し進める。

問 今回町ではなく公社の入札となるわけだが、入札・工事等、町で監理、監視すべきでは。

答 参事 県の入札基準に基づき指導、助言、監理をする。

問 駐車場整備はいつ頃なのか。

答 農政商工課長 10月のリニューアルオープンまでに間に合わせたい。

一般会計は1億2227万2千円を増額し、歳入歳出それぞれ、総額48億5948万1千円となりました。主なものは物産館改修事業補助金などです。

その他の補正予算

幼稚園臨時職員派遣業務
343万円

町営住宅修繕工事監理業務
135万円

2団体へ和太鼓修繕助成金
200万円

50万円 汚染廃棄物試験焼却運搬業務



問 汚染廃棄物すき込みに関する進捗状況は。

答 農政商工課長 利府町の方の分は了解済みである。地元には6月中に説明会を考えている。

82万円 町民体育館トイレ改修



問 今回はトイレ改修だが床の改修計画は。

答 社会教育課長 最低限の安全を担保する。今後大幅改修や解体も視野に検討する。

297万円 みやぎの水田農業改革支援事業補助金



問 補助金の内訳は。

答 農政商工課長 ほ場の均平整地のためのレーザーレベラー、大豆色彩選別機など。

97万円 まちづくりコーディネーター業務



問 事業のねらいは。

答 町長 中央の経済情報把握のために関東圏の方に委託する。



子ども・子育て会議条例

内容 庶務担当部署が保健福祉課から町民課に変わった。

可決

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

内容 指定都市の区域内に所在する幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定に係る事務権限が、都道府県から指定都市に移譲されたことに伴い改正する。

可決

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

内容 放課後児童支援員の基礎資格を拡大した。
(5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であれば、中学卒業者でも認定研修受講可とした)

可決

企業立地促進特別奨励金条例

内容 県の各種基本計画名の変更追加にあわせ改正するもの。
新規計画として情報通信関連産業の集積や大学などの情報系人材を活用した第4次産業革命の推進を条例に追加した。

可決

企業立地促進特別奨励金条例

目的 事業所を新設する事業者に、用地取得奨励金を交付し、企業立地促進と雇用機会拡大を図る。
実績 平成24年度 2625万円 (トーカロ株)
予算 平成30年度 1110万円 (大倉工業株)



陳情

日本政府に「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」提出に関する陳情書

【陳情者】
宮城県原爆被害者の会
ヒバクシャ国際署名連絡会
宮城 代表 炭谷 良夫

【要旨】
総務産業常任委員会に付託した結果、「採択すべきもの」との審査結果報告があった。これに基づき本会議で採決した結果、採択となった。

国に意見書を提出しました

核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

政府には、核兵器のない世界を目指してリーダーシップをとり、核兵器を持つ国々と持たない国々の橋渡し役を務めると自ら明言したとおりの行動が求められる。よって日本には、唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約を一日も早く署名・批准することを要望する。

【提出先】
衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・外務大臣・防衛大臣



平成30年6月定例会 議案採決結果一覧表

分類	議案名 (略称)	採決結果	議員名														
			石川良彦	吉田茂美	千葉勇治	石川秀雄	高橋壽一	高橋重信	和賀直義	赤間 滋	若生 寛	石川壽和	熱海文義	佐藤千加雄	大友三男	赤間茂幸	
報告	繰越明許費繰越計算書について	報告のみ															
	事故繰越し繰越計算書について	報告のみ															
条例改正	子ども・子育て会議条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	P4 企業立地促進特別奨励金条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
委員会発議	核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-
補正予算 P2-3	一般会計(第2号)48億5948万円(1億2227万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。



佐藤千加雄 議員

庁舎建設計画の青写真を

中心市街地をどこにするかを踏まえ議論する(町長)

問 庁舎の建て替えの準備に入る時期では。

答 町長 新たな発想に立つ時期であり、広く組み立てを勉強していく。

問 庁舎建設計画の青写真を。

答 町長 本格的な中心市街地をどこにするかを踏まえ、将来に備える時期と考えている。今後の議論として大事にしていく。

問 庁舎・公民館建設の準備室をつくる考えは。

答 町長 整備計画について6月中旬に策定し、準備室等の考え方なども計画の中に取り込んでどうかという指示していきたい。



▲将来を見すえた建て替え計画を

住民バス運行管理体制の改善を

実態調査し公社と協議する(町長)

問 今年4月から公社で運行開始早々、バス責任者が運転している時に、運転が荒い、口が悪く態度が悪いと現在まで10件以上の苦情があるが、指導する立場の責任者に対しての苦情という事をどのように考えるのか。

答 町長 福祉目的で運行開始したが、18年も経てば問題もいろいろ出てくる。実態を調査し根本から解決する。

問 町長は問題があれば公社に向いて、内容を詳しく確認し厳しく指導すると言っているが、苦情があるバス責任者は町長の親せきであり、内部で運転手に対しパワーハラスメントのようなこともあるようだが。



大友 三男 議員

問 町長 運営は公社に任せており、バス責任者に運営を任せているわけではない。公社の組織の中でバス責任者となつてくる者。2ヶ月で住民バスの将来が決まったわけではない。

問 町民第一主義と言っているが町民である運転手やバス利用者の声をなぜ聴こうとしないのか、なにが第一なのか。

答 町長 町民第一主義の信条は町民と協働で共感の持てる町づくりをともに行うという精神である。



▲利用者第一主義で安全運行を

一般質問

スクールバス運行会社の変更を

問 法違反を繰り返している民間バス会社に、本町の将来を担う大事な子ども達を託すことは出来ないと思いませんか。

答 町長 行政処分を複数回にわたり受けた事は誠に遺憾。運行管理状況の説明を求め安全運行に努めるよう強く要請した。

答 教育長 誠に遺憾。

問 今年3月22日に3回目となる行政処分を受けている。このような民間バス会社との委託契約は解除すべきと思うか。

答 町長 たまたま行政指導を受けているという事で、強く指導している。

町道の早急な安全対策を

問 歩道の無い町道に路肩ラインを二重に引き、車に対し歩道と同じ認識を促し、歩行者の安全対策を早急に行うべき。

答 町長 カラー舗装による歩行帯の設置や、ラインを二重にし、歩行者目線に立った道路整備に努めていく。

生活環境基盤の整備について

問 公共施設のスリム化を図る時期では。

答 企画財政課長 各課とのヒヤリングの中で老朽化施設の取り壊しや、統廃合できる部分はすべきという意見もあつたり、それを踏まえて計画策定している。

問 大郷町道路の整備に関する要綱整備、改正は。

答 地域整備課長 ※赤道^{あかみち}などの整備に関する要綱はないが、今後一定の条件で整備できるようにしたい。

問 生活道路の整備について、工事の早期着工を。

答 地域整備課長 なるべく早くできるように事業を進めて行きたい。

問 石綿セメント管更新事業が平成39年度完了となっているが、これまでの計画

が大幅に短縮した経緯と根拠は。

答 地域整備課長 更新率は類似団体と同程度並みに更新し、漏水管をなくすことにより有収率向上を図り、受水費の減額が出来ることなどを加味した。

問 水道管漏水調査業務の徹底を。

答 地域整備課長 重点施策として。今年度は東成田配水池系統を重点的に行う。

地域文化の振興について

問 旧大松沢小学校舎にある歴史民俗資料館準備室の今後の方向性は。

答 社会教育課長 諸問題があり方向性が見えない。

問 地域活性化のために、この土地の有効活用を。

答 町長 地元の方々と話し合いを行い、調査するように担当課に指示する。

問 無形文化財の後継者対策は。

答 社会教育課長 地元だけでなく、町内全域から後継者を育てていきたい。

一般質問

※赤道 旧道路法制化で市町村道に整理されず、そのまま残った道路の形をした土地。明治期に作成した公園で、道路は赤色で着色したため「あかみち」と呼ばれている。



千葉 勇治 議員

夢かなう町づくりプランの実現に全力尽くせ

まずは「道の駅おおさと」のリニューアルオープン(町長)

問 町内では山林開発や水田の形状変更などが進んでいるが、大郷町都市計画マスタープランに照らし合わせ問題は無いのか。

答 町長 少子高齢化、東日本大震災復興による土砂採取、太陽光発電施設の増加等、本町を取り巻く環境が激変している。道の駅おおさが今年10月にリニューアルオープンするので、今後の町づくりも視野に入れて進めていきたい。

問 乱開発防止のためにも都市計画法に基づく区域区分や用途指定をすべきでは。

答 町長 人口集積や市街化の見込みがない状況下、乱開発を防止するためだけに都市計画法に基づく区域区分・用途指定等はできない。町の現状と将来像を見



和賀 直義 議員

政策形成過程へ若者の参画を

意見、提言の機会を設ける(町長)

問 町政の見える化、開かれた行政の町民会議の内容とネライは。

答 町長 誰でも参加可能で、テーマを設定し町民と協働して課題解決にあたる。

問 若者の政治はなれが進行すれば社会の沈滞化につながる。若者の意見を聴き、政治参画を促進する取り組みが必要だ。政策審議会委員に若者枠の設定を。

答 町長 次回の改選時には、若い世代が加わるような方策を検討する。

問 若者が常時集える場所の提供・設置を。

答 町長 海洋センターや文化会館の会議室等、町の施設を有効活用してもらおう。



▲若者が躍動する未来を(おおさと「未来議会」)

問 青少年モニター制度、若者会議を開催し、若者との協働によるまちづくりを。

答 町長 青年団やジュニアリーダーから意見や提言を聴く機会を設け、家庭・地域・学校・行政が一体となった『協働』のまちづくりを目指す。

一般質問

中学校、避難所施設のトイレ100%洋式化を

問 全国の公立小・中学校のトイレの洋式化率は43%、東京都は、2020年のオリンピックまで80%の目標を掲げ、急ピッチで整備しようとしている。小学校は100%だが中学校は進んでいない。中学校や避難所施設のトイレの洋式化率、目標設定は。

答 町長 現状中学校校舎は26%、避難所施設が70%。施設の長寿命化計画を策定し、学校施設環境改善交付金等を活用しながら整備を進めていく。

問 文科省のトイレの状況調査で町の方針は90%を目指すことになっているが、いつまでに達成するのか。

答 学校教育課長 最短期間でも平成32年度頃、財政状況を考慮し、洋式化率の向上を進める。

問 避難所施設になっていく保健センター・ふれあいセンター21等のトイレはライフラインと同様に被災者の命を支える重要な意味がある。バリアフリー化も含めた改善計画であれば、緊急防災・減災事業債が平成32年度まで使えるとのこと。バリアフリー化にして洋式にすべきでは。

答 総務課長 個別の整備計画の中で検討する。



▲大幅リニューアルで経営刷新を(道の駅おおさと)

定め、許可権者の県と協議しながら進めていく。

問 長崎・中村地区を町道山中・希望の丘線でつなぎ、2地区を町の中核都市にする構想が示された経過があるが、田中町政の今後の取り組みについて伺う。

答 町長 町道山中・希望の丘沿線の整備事業は現在凍結しているが、民間主導で住宅開発などを進める計画が明確に示されるならば、町も全面的に支援・対応していく方針だ。

問 中村地区内で取り組まれている農地の現状変更の計画概要と、雨水・災害・通行車両対策や盛土質などについての指導内容を問う。

答 町長 現状変更届出分(1万2689㎡)は、農作業の効率化、作物育成の促進が目的で、土量で約6万㎡搬入され、工事完了後は水稲作付を計画。一時転用分(4754㎡)は工事完了後、農地に復元する。車両の出入りや土砂流出防止対策については今後一般の皆さんに迷惑が掛からないよう指導していく。

「町民第一主義」のねらいは

問 役場内に張り出されている「町民第一主義」のねらいは。

答 町長 町職員と町民が一体となって町民の幸せを実現するための一つの目標を定めたもの。

一般質問



若生 寛 議員

新たなバス停設置を

交通弱者、救済手段考える(町長)

問 スクールバス停までの平均距離と最長距離はどのくらいか。

答 教育長 幼稚園は平均340m、最長2・8km、小学校は410m、最長2・8km、中学校は340m、最長1・8kmである。

問 バス停設置に関する要件は何か。

答 教育長 基本は住民バスの停留所、利用申込状況により専用バス停を設置。

問 不公平感がぬぐえない道路改良や小型バス運行での対応を。

答 学校教育課長 7路線7台で運行している。家族の苦勞も理解できる、しかし乗車時間、費用対効果の点で困難である。

問 町長 スクールバスに限らず交通弱者を考える。デマンド方式的なものを旧学区4地域で実行したい。

答 町長 町の都合より利用者の都合を考慮すべきでは。下校時の対応を。

問 教育長 15時と16時の便があり、終業が早い子は児童館利用で遅い便の利用を検討してほしい。

答 町長 スクールバスも含め、公共交通体制の見直しの時期では。

問 企画財政課長 町民会議でも討議した。費用対効果も含め見直しを検討する。



▲利便性の向上を(上村分館)

原子力発電所再稼働への考え方は

問 福島原発事故から7年が経過した。福島県内にはいまだに16万人もの人々が避難生活を強いられているとのことである。東北電力女川原子力発電所再稼働への考え方は。

答 町長 国で判断すべきもの。知事は関係市町だけでなく「県内各市町村長の意見を聴く機会を設ける」意向であり、方針や安全性を確認する。

問 再稼働には反対してほしいが町長の考えは。

答 町長 安全を積み上げており絶対大丈夫であり賛成だ。万が一の場合は対策を考える。



高橋 重信 議員

乱開発を防ぐ条例の制定を

開発指導要綱に基づき対応(町長)

問 東成田、川内地区に土取場が集中しており、乱開発と思われる。1ヘクタール以上の許認可は県にあるが、地元で許可しなければ開発はできないのではと考える。土地販売の土取場と山砂販売の土取場との状況を図面化すべきである。町づくりのための開発行為ならまだしも、このような乱開発は条例を制定し防ぎたいと考えるが。

答 町長 森林法、土砂採掘の条件は完了後に植栽をして山に戻す。町では1000㎡以上の開発は事前協議の提出を受け、災害の防止及び環境保全等を審査し合致した場合に合意している。法律並びに町の開発指導要綱に基づき、乱開発防止に対応していく。



▲リニューアルで賑わいを(道の駅おおさと)

問 井ヶ田製茶(株)との事業展開が始まる。どのように取り組んでいるのか。

答 町長 本年1月、井ヶ田製茶(株)と公社、町で三者協定を締結した。「物産館」の店づくりや商品開発、人材育成等、共同で事業の推進に努めている。

問 本事業は「若者・定住・子育て」等、魅力あるまちづくりを行うための体制づくりが極めて重要と考える。公社事業の推進体制について所見を伺う。

答 町長 女性プロジェクトチームを立ち上げて顧客満足度の充実に努める。行

問 業務提携により駐車場が手狭になるとのことだが、10月から本格的な稼働を行うがどのように考えているのか。

答 町長 バイパス側は大豆を栽培しているので、フラップ大郷21に近い場所を民間会社が借りて造成工事をして公社で借りる。また、賑わいを出すために、屋外でテントを張り、いろんな業種を呼び込み、毎月いろんな催事をし、賑わいを作っていくので、できるだけ広い駐車場が必要になってくる。

振興公社事業の推進体制について

問 振興公社事業の推進体制について所見を伺う。

答 町長 女性プロジェクトチームを立ち上げて顧客満足度の充実に努める。行

問 楽シーズンの10月リニューアルオープンに向け、全員が一丸となり魅力ある町づくりをしたい。

答 町長 バイパス側は大豆を栽培している...

恵の丘めぐみのおかを坪5万円で分譲

(高崎団地)

5月16日に第2回臨時会が開催され、専決処分の承認5件、一般会計補正予算、宅地分譲事業特別会計補正予算を審査し、原案のとおり可決しました。

討論

宅地分譲事業特別会計

賛成 若生 寛議員

長い目で見て、人口が増え、町民税・固定資産税の増が見込める。中村地区の分譲価格を考慮したものであり、定住促進のため、一日も早く完売することを期待する。

賛成 千葉勇治議員

速やかに分譲を進めることが初期目的の定住促進を達成することになる。「元気な大郷人口が増える大郷」の宣伝効果にもなり、民間の宅地開発事業にも効果をもたらすと考える。議員として早期完売に協力することを誓い賛成する。

反対 大友三男議員

この事業がなぜ高額になったか解明し、町民に説明、納得してもらってから、分譲価格を決定・販売すべきである。6月販売にこだわるべきではない。

一般会計補正予算

問 なぜ分譲価格を坪8万5千円から坪5万円と引き下げたのか。

答 町長 早期完売し、定住促進事業の目的を達成することが重要との多くの議員の意見を重視した。

宅地分譲事業特別会計

問 経過を理解していないのでは。投入した税金を回収すべきだ。

答 町長 民間会社が今後、大郷で宅地開発事業をする際に支障が

答 町長 前任者の事業を棚上げすることはできない。疑問を感じながらも、町民の理解を得られるよう早く処理し、町外からの若い世代を受け入れて定住促進の効果を出すことが責務だ。

問 3月定例会前に坪5万円との説明があったが、なぜ定例会で坪8万5千円にしたのか。

答 町長 民間会社が今後、大郷で宅地開発事業をする際に支障が

出るとの声があり、公共用地の費用を除いた坪8万5千円にした。

問 坪8万5千円の販売価格に対し、定住促進の名目で坪3万5千円の補助金を提案したが。

答 町長 難しい価格設定をしても同じなので5万円とした。

問 販売の見通しは。

答 町長 まちづくり推進課長 問い合わせがきている。

なぜ幼保連携型認定こども園か

教育の質を落とさないで、運営できると判断(学校教育課長)



熱海 文義 議員

問 当初、^{※1}公私連携幼保連携型認定こども園にする予定から^{※2}幼保連携型認定こども園になぜなったのか。

答 学校教育課長 子ども子育て会議等の話し合いの中で質を落とさないで運営できると判断した。

問 認定こども園になった場合、町とのつながりは。

答 学校教育課長 覚書などにより、つながりを持ちながら幼稚園、保育園の質を担保した運営法人を決めていきたい。

問 現在、保育園委託費1億2千万円、幼稚園運営費1億円になっているが、認定こども園になった場合、町の財政負担は。

答 教育長 年間5000万円くらい軽減される見通しである。

問 認定こども園の名称は。

答 教育長 運営法人が選定された後に協議していく。

問 幼稚園教諭と保育士両方の資格が必要になるが、確保出来るのか。

答 教育長 認定こども園募集要項に明記し、条件を満たす運営法人を選定する。

問 今後の幼稚園職員の処遇は。

答 教育長 認定こども園に移行後は教育委員会部局と町長部局に、適材適所な部署に配置換えする。

問 施設の増築計画はあるのか。

答 教育長 増設は行わないでこのままで運営していく。

問 幼稚園バスを小学校バスと兼用出来ないのか。

答 学校教育課長 座席の高さ、ステップの問題があるが検討していく。

問 大学の協力による教育支援を行っている園もあるようだが。

答 教育長 運営法人と協議していく。



▲元気いっぱい 笑顔いっぱい 夢いっぱい (すくすくゆめの郷)

※1 公私連携幼保連携型認定こども園

※2 幼保連携型認定こども園

協定に基づき、市町村から必要な設備の貸付け、譲渡その他の協力を得て、市町村との連携の下に教育及び保育等を行う幼保連携型認定こども園をいう。

幼稚園的機能と保育的機能の両方の機能をあわせ持つ単一の施設として、認定こども園としての機能を果たす。

平成30年第2回臨時会 議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	議員													
			赤岡茂幸	大友三男	佐藤千加雄	熱海文義	石川壽和	若生寛	赤岡滋	和賀直義	高橋重信	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦
専決処分(条例改正)	指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	税条例等の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般会計(第1号) 47億3721万円(4679万円↓)	可	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	宅地分譲事業特別会計(第1号) 6536万円(4679万円↓)	可	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席

※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

次回定例会の
ココに注目!!

決算審査

決算：町の収入と支出の結果を集計したもので、税金を使ってどのような成果を上げたのかを示す**町の成績表（成果報告書）**。

審査：決算審査特別委員会で各課ごとに審議を行い、話し合われた意見をもとに、**町へ意見書を提出する**。

議会の
チェックポイント

- ・ 議決した予算が適正に使われたか
- ・ 行政効果や経済効果はあったのか

意見書

町に改善してほしいところを提言し、次年度の
予算編成（3月）や行政運営に役立ててもらおう。

町へ

次回定例会 予定

9月6日(木)～9月21日(金)

皆さんの傍聴をお待ちしています。

議会の主な動き (4/1～6/30)

月 日	用 務	月 日	用 務
4/5	広報広聴常任委員会	5/19	議会報告会（ふれあいセンター、社会教育センター）
4/6	春の交通安全運動大郷町開始式	5/20	議会報告会（中村分館、中粕川分館）
4/6	宮城黒川地方町村議会議長会定例会議（仙台市）	5/20	大郷小学校運動会
4/7	大郷保育園入園式並びに進級式	5/22	議員全員協議会、議会運営委員会、議会改革調査特別委員会
4/9	大郷小・中学校入学式	5/22	江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期同盟会総会（大崎市）
4/10	大郷幼稚園入園式	5/23	黒川地方市町村議会連絡協議会総会（大和町）
4/16	広報広聴常任委員会	5/24	くろかわ商工会通常総代会（大和町）
4/18	黒川地方市町村議会連絡協議会監事会並びに役員会（富谷市）	5/25	（一社）大郷町シルバー人材センター定期総会
4/19	宮城黒川地方町村議会議長会定例会議（仙台市）	5/28	全国町村議会議長会議長・副議長研修会（東京都）
4/23	宮城黒川地方町村長・議長懇話会（松島町）	5/29	議会運営委員会
4/25	大郷町老人クラブ連合会総会	5/31	議員全員協議会、議会改革調査特別委員会
4/25	総務産業常任委員会	6/5～6/8	第2回（6月）定例会
4/26	教育民生常任委員会（大衡村）	6/6	広報広聴常任委員会、議会改革調査特別委員会
4/27	大郷町ボランティア友の会総会	6/10	大郷町消防団消防演習
4/29	大郷町婦人会通常総会	6/18	黒川地域行政事務組合議会運営委員会（大和町）
5/11	議員全員協議会	6/18	黒川地域行政事務組合臨時会（大和町）
5/16	大郷町ゲートボール協会第10回春季町長杯大会	6/19	茂登枝会総会並びに町政懇談会
5/16	第2回（5月）臨時会	6/20	大郷町老人クラブシニアスポーツ大会
5/16	議会改革調査特別委員会	6/25	広報広聴常任委員会
5/18	黒川地区防火管理協議会記念式典（大和町）	6/28	JAあさひな総代会（大和町）

4/25

空き家・空き地の有効活用を

総務
産業



調査の経過
空き家バンクの現在までの実績は登録物件10件中売却・賃貸契約8件、現在登録物件2件である。登録希望者は平成28年度25件、平成29年度16件であった。

課題の整理
・ 空き家所有者の意識改革
・ 空き家所有者・移住者への補助制度の周知
・ 全国版空き家・空き地バンクの活用

- 【意見】**
- (1) 空き家になると予想される物件に対して早めの対策を。行政区長との連携強化を図り、空き家・空き地の有効活用を図られるよう努力されたい。
 - (2) 空き家の状況調査が十分に行われていないのが現状である。早急に状況を把握し、空き家バンクに登録できるように更なる改善を図られたい。
 - (3) 空き家の所有者・利用希望者に対する助成制度のさらなる充実を図られたい。
 - (4) 物件の調査について、詳細な調査ができるように更なる改善を図られたい。調査方法についても、専門的な教育や建築士などの指導も必要と考える。
 - (5) 近隣市町村に比べ実績は群を抜いているのが現状であるが、広報活動のさらなる充実を図られたい。

4/26

先進地視察 おおひら万葉こども園

教育
民生



▲国際人を目指して（おおひら万葉こども園）

調査の経過
出生数の減少、施設整備費用等を考慮し、平成32年4月に幼保連携型認定こども園を開園するとの提案があった。町の担当課より取り組み状況と課題について説明を受けた。その後先進地として「おおひら万葉こども園」を視察した。

- 【意見】**
- (1) 財政的に何が改革され、町・利用者にとのよくなメリットが生じるのか試算を示されたい。
 - (2) 教育・保育目標の設定、設定保育と自由保育のバランス、小学校を意識した取り組みなど全体像を関係者（保護者、教育委員会、議会等）に示し、より良いものになるよう議論を深めるべきである。
 - (3) 大郷ならではの特色ある教育も検討すべきである。
 - (4) これまで、かなりの知識と経験を持って携わってきた幼稚園教諭にも最大限の配慮・対策を講じるべきである。
 - (5) 開園までのスケジュールを関係者が共有できるように提示すべきである。

委員会

共に考えましよう未来の大郷を!!



第2回議会報告会に70名が参加（5月19日・20日）

平成30年度議会報告会も昨年同様4ヶ所で開催し、47件の声がありました。町政や議会活動に反映するよう努めます。



（中粕川分館）



住民バス

町へ

歴史・文化

雇用対策



（中村分館）

意見 高校の定期試験時のバスダイヤを考慮してほしい。
答 要望を伝える。

問 町の歴史・文化を守るため、関係者として町に対し助成金の増額を提案しても一向に変わらぬ、議会として町に予算増額を提案して欲しい。
答 議会の中でも助成金の増額提案している、今後必要請していく。

問 住民バスの委託料がだいぶ減額になっているのはなぜか。
答 バス車両整備費や燃料費を、町が直接支払う事になったため。

意見 来年度の議員改選に伴い、議員定数を削減し財政軽減を図るべき。
答 町ホームページによるスピーディーなネット配信をするよう要請しているが、再度要請する。

問 川内の工業用地造成を予定していたが、町長が変わって白紙になったのか。
答 町での造成はしないが企業が来て造成するのであれば協力すると言っている。

問 交流人口の増、移住定住促進のための、町の良さを情報発信をしているのか。
答 町ホームページによるスピーディーなネット配信をするよう要請しているが、再度要請する。

第67回 追跡レポート

各種検診受診率向上を

早期発見、早期治療のための各種検診受診率向上を図りたい。

(予算審査特別委員会意見書／平成29年3月)

その後の対応と今後の計画

町では、土曜検診の実施、また、昨年度から子宮がん、胃がん及び大腸がん検診の自己負担額の引き下げや、若世代健診の対象年齢の拡大を行うなど、受診率の向上を図っています。これらのほか、一昨年から実施している子宮がん検診の個別検診が浸透してきており、平成29年度の受診者は前年比で49名増加、検診受診者の総数も300人ほど増加しました。今後ともより受診しやすい環境の整備に努めてまいりますので、検診は必ず受診するようお願いいたします。

保健福祉課長



体力向上・健全育成に取り組む働きかけを

(教育民生常任委員会報告書／平成26年6月)

追跡レポート

幼稚園では、豊かな心とたくましい体づくりを研究目標にし、指導を改善。小学校では、体力づくりを主眼とした教科体育の充実と体育的行事を工夫。中学校では、個の体力に応じた運動量確保の指導計画作成と実践。

(おおさとみんなの議会176号／平成26年11月)

その後の対応と今後の計画

再追跡レポート

幼稚園では、運動遊びを通して丈夫な体と豊かな心を育てる保育を研究目標にし、現在も継続して取り組みを行っています。小学校では、体力づくりの一環として体育の授業始めに2分間走に取り組んでいます。また、秋は持久走、冬はなわとび運動と季節にあわせた体力の維持・向上につながる取組みも行っています。さらに、保護者に対し「早寝・早起き・朝ごはん」の実践の継続をお願いしています。中学校では、業間休憩を活用した体力づくり推進や、健康教育を通し、生涯スポーツの基礎・意欲を培う指導の推進を行っています。

学校教育課長



第2回議会報告会



(ふれあいセンター=21)



空き家対策

こうして欲しい
意見・要望

恵の丘
(高崎団地)

子育て支援



問 分譲宅地の販売価格が坪8万5千円から5万円に下がった理由は、
答 最終的な提案はあくまでも町長で、それを議会で賛成可決し決定した。
問 現在の空き家件数はどのくらいあり、どのような対策を講じているのか。
答 現在空き家は約100件あるが、空き家バンク登録数は十数件。リフォーム助成や家財撤去助成など複数の助成制度を活用して頂くよう対策を講じている。

問 新入学時運動着の助成について、第一子目は有難いが第二子目はおさがりでも良いので対応に柔軟性を持ち工夫をしてほしい。
答 昨年からは始まった子育て支援事業で、無駄にしないためにも今後どのようにするか町と協議する。



(大松沢社会教育センター)

インタビュー

ひとくちの“美味”ひとすじ

鈴木菓子店 (中村)



鈴木 ^{ひらく} 啓 ^{さん}
多 ^{たきこ} 喜子 ^{さん}

創業は？

100年以上(祖父の代から)になる。昭和43年に受継ぎ、三代目になる。

創業するきっかけは？

受継ぐのは当然と思っていました。

震災の影響は？

大震災で山崎の自宅兼工場と店舗が全壊し中村の現在の地に。

販売先は？

道の駅おおさと、ウジエ

スーパー

製品の種類は？

饅頭、大福餅、五目飯、赤飯、加工餅、揚饅頭、あん入りよもぎ餅、いちご大福餅、らくがん(シソ・ごま)、雁月

苦労していることは？

手作りなのであまり数量ができないこと。

うれしかったことは？

お客様に「とっても美味かった」と言われた時。

今後の目標は？

「いちご大福餅」のように、現代に見合った和菓子を開発していきたい。何よりお客様に美味しいと言われるものを作っていきたい。

夏まつりの饅頭早食い競争

について一言

早食いだけでなく、もっとゆつくり味わって食べてもらいたい気もいたします。

編集後記

5月19、20日の議会報告会には、多くの皆様にお集まりいただき、ご意見ご質問を賜りありがとうございました。これからの議員活動に反映させてまいります。もうすぐお盆です。遠く離れている家族や親類の人達が笑顔をお土産にしばらくぶりに帰ってきます。ごちそうをたくさん用意します。楽しみにしています。

若生 寛

